

アンケート用紙

① 施設担当部署への質問

回答者情報

所属	
役職	
氏名	
電話番号	

基礎データ

大学名		
建物名称		
竣工（改修）年		年
建物延床面積		m ²

報告対象面積		m ²
--------	--	----------------

※建物全体を対象とする場合は、建物延床面積

稼働時間		時間/日
------	--	------

利用者数		
常駐教員数		人
常駐研究員数		人
学部学生・院生数		人
その他		人

ラボスペース (①～⑤) ※研究室・院生スペースを含む

①占有ラボ面積（研究室毎に割り当てられているスペース）

WET		m ²
DRY		m ²

②共用ラボ面積（複数の研究室で共同利用しているラボスペース）

WET		m ²
DRY		m ²

③学生実験・実習室（学生実験、実習のためスペース）

WET		m ²
DRY		m ²

④オープンラボスペース（オープンラボとして貸出しているスペース）

WET		m ²
DRY		m ²

⑤その他のラボ面積

WET		m ²
DRY		m ²

ラボ以外のスペース（⑥～⑬）

⑥教員個室		m ²
⑦研究員・院生等スペース		m ²
⑧交流・談話スペース		m ²
⑨倉庫・保管庫		m ²
⑩廊下・ホール		m ²
⑪機械室		m ²
⑫会議室		m ²
⑬講義室		m ²
⑭その他のスペース		m ²

ラボ建設（改修） にかかった費用		百万円
---------------------	--	-----

報告対象面積 - sum(① : ⑬)

代表的な部屋について	実験室		研究室	
面積		m ²		m ²
想定利用者数		人		人
天井高さ		m m		m m
電源容量（実験用）		k VA		k VA
空調負荷		k W		k W
停電時非常電源				
LAN				
席数		人		人
ドラフトチャンバー設置台数		台		台

Q1.ラボ建設について（整備手法）（以下から選択）

新築建物	
増築	
既存実験棟の全面改修	
既存実験棟の部分改修	
実験棟以外の建物のリノベーション	

Q2.ラボ建設における重要な要素（当該施設の特徴）は？（複数回答可）

建設コスト	
運営コスト（維持管理費・光熱水量）	
高価な実験機器	
研究者を引き付ける設備	
アクティブラーニングスペース	
レイアウト	
色彩	
開放感	
省エネ・省CO2	
安全衛生	
セキュリティ	
動線の確保	
フレキシビリティ	
非常用電源	
床の仕様	
持続可能性	
建設期間	
面積	
交流スペース	
会議スペース	
その他	←自由記入

Q3.ラボ建設の構想から完成までに要した時間について

構想から完成まで	約		ヶ月
基本設計	約		ヶ月
実施設計	約		ヶ月
工事期間	約		ヶ月

Q4. 構想・計画段階（設計者が決まる前の段階）において、建築家やデザイナーなどの専門家（学内の専門家も含む）の参加はあったか。

参加した	
参加していない	

Q5. キャンパスマスタープラン、その他の学内の計画や規定に「ラボの共用化」についての記載はあるか。

記載がある	
記載は無い	

Q6. ラボへの入退室管理について、施設面での対応は十分である。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q7. 化学物質、細菌等のコンタミネーション対策について施設面での対応は十分である。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q8. ラボ建設に際し、最も対応に苦慮したもの（1つを選択）

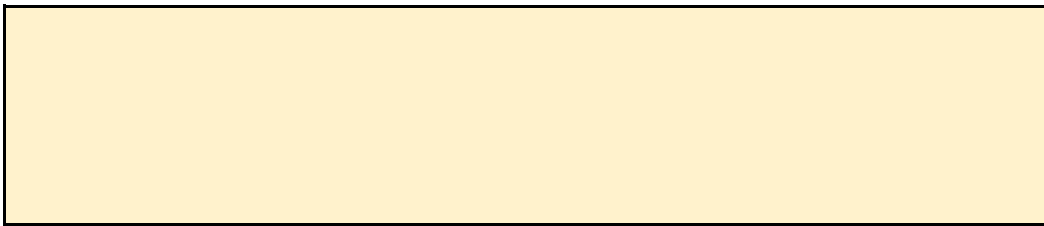
・ 建設（改修）に係る予算の確保	
・ 運営に係る予算の確保	
・ 実験機器購入に係る予算の確保	
・ 研究者（使用者）へのヒアリング	
・ 建物使用者の選定	
・ 学内合意	
・ その他	

Q9. ラボ建設費の内訳（10ポイントを振り分けてください。例）

・ 自己財源		①		3	①
・ 寄付金		②		2	②
・ 文部科学省からの補助金		③		5	③
・ 文部科学省以外からの補助金		④			④
・ 共同研究企業からの出資金		⑤			⑤
・ 上記以外の財源		⑥			⑥
合計		残り10ポイント		10	合計

(① + ② + ③) = 10

Q10.その他工夫した点、懸案事項等（自由記入）



②ユーザー向けの質問

※ラボの代表者（教員）、2以上のラボ・講座で利用する場合は代表又は取りまとめる方（教員）にご回答をお願いします。

回答者情報

所属	
役職	
氏名	
電話番号	

Q1.実験機器等の共有を進めやすい。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q2.ラボにおけるコンタミネーション対策は十分である。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q3.代表的なラボの薬品の総量、種別等の管理が容易である。

※薬品を使用する実験がある場合、お答えください。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q4.ラボへの入退室管理は容易である。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q5.ディスカッションやコミュニケーションが増えた。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q6.共用ラボスペースと占有ラボ（室の出入りを制限している）スペースの割合は適当か。

共用ラボスペースを増やしたい	
適当な割合である。	
占有ラボスペースを増やしたい	

Q7. 間仕切りへのガラス面を多用するなど、見通しのよい／オープンな環境となっている。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q8. S I NETに接続するための通信速度・容量は十分である。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q9. ディスプレイの種類や数、テレビ会議システム等、I C T活用が十分できる。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q10.当初計画（既存建物）に比べ、光熱水費はどうになりましたか。

減った	
概ね計画通り	
増えた	
大幅に増えた	

Q11.当初計画（既存建物）に比べて、維持管理費はどうになりましたか。

減った	
概ね計画通り	
増えた	
大幅に増えた	

Q12.基本設計内容の承諾、建設の許可等、学内合意形成は円滑に行えた。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q13.その他利用に当たり工夫した点、懸案事項等（自由記入）

--

Q14.ラボ建設における重要な要素について（自由記入）

--

① 施設担当部署への質問

記載要領

回答者情報

※ファイルは1建物1ファイルで作成してください。

所属	〇〇部〇〇課〇〇係
役職	〇〇係長
氏名	
電話番号	

基礎データ

大学名	〇〇大学	
建物名称	〇〇総合研究棟	
竣工（改修）年	西暦	年
建物延床面積	〇〇	m ²

報告対象面積		m ²
--------	--	----------------

※建物全体を対象とする場合は、建物延床面積

1日当たりの平均稼働時間を記入して下さい。

稼働時間		時間/日
------	--	------

利用者数 (実利用者数が不明の場合、設計時の人数で記入してください。)

常駐教員数		人
常駐研究員数		人
学部学生・院生数		人
その他		人

ラボスペース (①～⑤) ※研究室・院生スペースを含む WET：水を使用するラボ

①占有ラボ面積 (研究室毎に割り当てられているスペース) DRY：水を使用しないラボ

WET		m ²
DRY		m ²

WET (例)：薬品を使用するラボ

DRY (例)：コンピューターを用いた模擬実験ラボ等

②共用ラボ面積 (複数の研究室で共同利用しているラボスペース)

WET		m ²
DRY		m ²

③学生実験・実習室 (学生実験、実習のためスペース)

WET		m ²
DRY		m ²

④オープンラボスペース（オープンラボとして貸出しているスペース）

WET		m ²
DRY		m ²

⑤その他のラボ面積

WET		m ²
DRY		m ²

ラボ以外のスペース（⑥～⑬）		
⑥教員個室		m ²
⑦研究員・院生等スペース		
⑧交流・談話スペース		m ²
⑨倉庫・保管庫		m ²
⑩廊下・ホール		m ²
⑪機械室		m ²
⑫会議室		m ²
⑬講義室		m ²
⑭その他のスペース		m ²

ラボ建設（Q1） にかかった工事費		百万円
----------------------	--	-----

報告対象面積 - sum(① : ⑬)

※1.報告対象面積のラボ運用に至るまでにかかった総工事費を記入してください。

※2.報告対象面積に直接かかった費用の算出が困難な場合、総工事費の面積按分により算出してください。

※3.上記金額には、備品で購入した家具、実験機器等は含まないものとします。

代表的な部屋について	実験室（メインで使用している1室）		研究室（学生・院生の控室等、1室）	
面積		m ²		m ²
想定利用者数		人		人
天井高さ		mm		mm
電源容量（実験用）		k VA		k VA
空調負荷		k W		k W
停電時非常電源	有・無		有・無	
LAN	有線・無線・有線+無線		有線・無線・有線+無線	
席数	座る事が出来る人数	人	座る事が出来る人数	人
ドラフトチャンパー設置台数	1室分	台		台

Q1.ラボ建設について（整備手法）（以下から選択）

新築建物	<input type="checkbox"/>	該当するものに○
増築	<input type="checkbox"/>	
既存実験棟の全面改修	<input type="checkbox"/>	
既存実験棟の部分改修	<input type="checkbox"/>	
実験棟以外の建物のリノベーション	<input type="checkbox"/>	

Q2.ラボ建設における重要な要素（当該施設の特徴）は？（複数回答可）

建設コスト	<input type="checkbox"/>	該当するものに○
運営コスト（維持管理費・光熱水量）	<input type="checkbox"/>	
高価な実験機器	<input type="checkbox"/>	
研究者を引き付ける設備	<input type="checkbox"/>	
アクティブラーニングスペース	<input type="checkbox"/>	
レイアウト	<input type="checkbox"/>	
色彩	<input type="checkbox"/>	
開放感	<input type="checkbox"/>	
省エネ・省CO2	<input type="checkbox"/>	
安全衛生	<input type="checkbox"/>	
セキュリティ	<input type="checkbox"/>	
動線の確保	<input type="checkbox"/>	
フレキシビリティ	<input type="checkbox"/>	
非常用電源	<input type="checkbox"/>	
床の仕様	<input type="checkbox"/>	
持続可能性	<input type="checkbox"/>	
建設期間	<input type="checkbox"/>	
面積	<input type="checkbox"/>	
交流スペース	<input type="checkbox"/>	
会議スペース	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="text"/>	←自由記入

Q3.ラボ建設の構想から完成までに要した時間について **数字を記入**

構想から完成まで	約	<input type="text"/>	ヶ月
基本設計	約	<input type="text"/>	ヶ月
実施設計	約	<input type="text"/>	ヶ月
工事期間	約	<input type="text"/>	ヶ月

Q4.構想・計画段階（設計者が決まる前の段階）において、建築家やデザイナーなどの専門家（学内の専門家も含む）の参加はあったか。

参加した	<input type="checkbox"/>	該当するものに○
参加していない	<input type="checkbox"/>	

Q5. キャンパスマスタープラン、その他の学内の計画や規定に「ラボの共用化」についての記載はあるか。

記載がある		該当するものに○
記載は無い		

Q6. ラボへの入退室管理について、施設面での対応は十分である。

そう思う		該当するものに○
どちらかといえばそう思う		
どちらかといえばそう思わない		
そう思わない		

Q7. 化学物質、細菌等のコンタミネーション対策について施設面での対応は十分である。

そう思う		該当するものに○
どちらかといえばそう思う		
どちらかといえばそう思わない		
そう思わない		

Q8. ラボ建設に際し、最も対応に苦慮したもの（1つを選択）

・建設（改修）に係る予算の確保		該当するものに○
・運営に係る予算の確保		
・実験機器購入に係る予算の確保		
・研究者（使用者）とのヒアリング		
・建物使用者の選定		
・学内合意		
・その他		

①～⑥の合計が10になるように割り振る

Q9. ラボ建設費の内訳（10ポイントを振り分けてください。例

・自己財源		①		3	①
・寄付金		②		2	②
・文部科学省からの補助金		③		5	③
・文部科学省以外からの補助金		④			④
・共同研究企業からの出資金		⑤			⑤
・上記以外の財源		⑥			⑥
合計		残り10ポイント		10	合計

(①+②+③) = 10

※10%未満の場合は、1ポイントとしてください。10%以上の場合は1/10を乗じた上で、小数点第一位を四捨五入し、整数としてください。合計ポイントが10ポイントを超えるようであれば、主たる財源から減じ、合計ポイントが10ポイントとなるように調整してください。

例：文部科学省からの補助金が88%、自己財源が1%の場合、寄付金が11%の場合
 文部科学省からの補助金：8ポイント 自己財源：1ポイント 寄付金：1ポイント

Q10. その他工夫した点、懸案事項等（自由記入）

<p>9+1+1=11なので、1ポイントオーバーしている。 そのため、9 → 8 となっている。</p>	<p>11%は、11×1/10=1.1≒1ポイント</p>
--	-------------------------------

②ユーザー向けの質問

※ラボの代表者（教員）、2以上のラボ・講座で利用する場合は代表又は取りまとめる方（教員）にご回答をお願いします。

回答者情報

所属	
役職	
氏名	
電話番号	

Q1.実験機器等の共有を進めやすい。

そう思う		該当するものに○
どちらかといえばそう思う		
どちらかといえばそう思わない		
そう思わない		

Q2.ラボにおけるコンタミネーション対策は十分である。

そう思う		該当するものに○
どちらかといえばそう思う		
どちらかといえばそう思わない		
そう思わない		

Q3.代表的なラボの薬品の総量、種別等の管理が容易である。

※薬品を使用する実験がある場合、お答えください。

そう思う		該当するものに○
どちらかといえばそう思う		
どちらかといえばそう思わない		
そう思わない		

Q4.ラボへの入退室管理は容易である。 該当するものに○

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

Q5. ディスカッションやコミュニケーションが盛んである。

そう思う	<input type="radio"/>	該当するものに○
どちらかといえばそう思う	<input type="radio"/>	
どちらかといえばそう思わない	<input type="radio"/>	
そう思わない	<input type="radio"/>	

Q6. 共用ラボスペースと占有ラボ（室の出入りを制限している）スペースの割合は適当か。

共用ラボスペースを増やしたい	<input type="radio"/>	該当するものに○
適当な割合である。	<input type="radio"/>	
占有ラボスペースを増やしたい	<input type="radio"/>	

Q7. 間仕切りへのガラス面を多用するなど、見通しのよい／オープンな環境となっている。

そう思う	<input type="radio"/>	該当するものに○
どちらかといえばそう思う	<input type="radio"/>	
どちらかといえばそう思わない	<input type="radio"/>	
そう思わない	<input type="radio"/>	

Q8. S I N E T に接続するための通信速度・容量は十分である。

そう思う	<input type="radio"/>	該当するものに○
どちらかといえばそう思う	<input type="radio"/>	
どちらかといえばそう思わない	<input type="radio"/>	
そう思わない	<input type="radio"/>	

Q9. ディスプレイの種類や数、テレビ会議システム等、ICT活用が十分できる環境である。

そう思う	<input type="radio"/>	該当するものに○
どちらかといえばそう思う	<input type="radio"/>	
どちらかといえばそう思わない	<input type="radio"/>	
そう思わない	<input type="radio"/>	

Q10. 当初計画（既存建物）に比べ、光熱水費はどうなりましたか。

減った	<input type="radio"/>	該当するものに○
概ね計画通り	<input type="radio"/>	
増えた	<input type="radio"/>	
大幅に増えた	<input type="radio"/>	

Q11. 当初計画（既存建物）に比べて、維持管理費はどうなりましたか。

減った	<input type="radio"/>	該当するものに○
概ね計画通り	<input type="radio"/>	
増えた	<input type="radio"/>	
大幅に増えた	<input type="radio"/>	

Q12.基本設計内容の承諾、建設の許可等、学内合意形成は円滑に行えた。

そう思う	
どちらかといえばそう思う	
どちらかといえばそう思わない	
そう思わない	

該当するものに○

Q13.その他利用に当たり工夫した点、懸案事項等（自由記入）

--

Q14.ラボ建設における重要な要素について（自由記入）

--